

● 複入力テーブルを作成する

複入力テーブルを作成すると、2つの数値にいろいろな値を入力して計算結果を比較することができます。たとえば、以下の例のように、返済期間と年利に複数の値を代入して返済金額を求めることができるので、年利の支払いや期間を検討するときに役立ちます。

サンプル目録 13-9_10.xlsx

1									
2	借入金	25,000,000							
3	年利率	1.00%							
4	返済期間(年)	20							
5	返済額(円)	94,219							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

1									
2	借入金	25,000,000							
3	年利率	1.00%							
4	返済期間(年)	20							
5	返済額(円)	94,219							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

複数条件を対象にテーブルを作成できる

セルC8にセルD5の数式を参照させておく

1									
2	借入金	25,000,000							
3	年利率	1.00%							
4	返済期間(年)	20							
5	返済額(円)	94,219							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

1 セルC8に「=D5」と入力

2 Enter キーを押す

3 セルC8からE19をドラッグして選択

1									
2	借入金	25,000,000							
3	年利率	1.00%							
4	返済期間(年)	20							
5	返済額(円)	94,219							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

4 [データ] タブ- [データツール] グループ- [What-If分析] をクリック

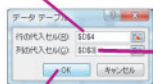
What-If 分析

5 [データテーブル] をクリック

[データテーブル] ダイアログボックスが表示された

表の年利率は縦方向(列)に、返済期間は横方向(行)に入力されているので、[列の代入セル]はセルD3、[行の代入セル]はセルD4を絶対参照で選択する

6 [行の代入セル]にセルD4を絶対参照で指定



7 [列の代入セル]にセルD3を絶対参照で指定

8 [OK] をクリック

テーブルが作成される

💡 借入金を変更してシミュレーションする

テーブル内の代入値を変更してさまざまな値の計算結果を表示することもできますが、テーブルの元になる表の値を変更すると一度にテーブルの計算結果を更新することができます。たとえば、セルD2の借入金を変更すると、変更された借入金を元にしてテーブル内の計算結果が一度に変更されます。このように、代入だけでなく、元の表の数値を変更して計算結果をシミュレーションすることもできます。

Excelの基礎知識 1

データの入力 2

データの編集 3

セルの書式設定 4

シートの操作 5

ブックの新規作成 6

ページ設定と印刷 7

表作成のサポート機能 8

数式 9

関数 10

グラフ 11

図形 12

データ分析 13

ピボットテーブル 14

マクロ 15

アプリケーションとの連携 16

データの共有 17

Excelのオプション 18

付録